

倉掛新聞

《発行所》 倉掛自治連合会
 倉掛自治連合会
 井原市井原町倉掛
 会長／梶谷昌弘
 《編集》 倉掛自治連合会
 倉掛自治連合会
 倉掛少年団
 倉掛消防分団

地域を守って十二年

夜間防犯パトロール

倉掛自治連合会は毎月第三土曜日の夜、地区内の防犯パトロールを実施している。冬場は午後七時半から夜光たすきと腕章をつけ、防犯灯の球切れや周りの様子に目を配りながら巡回。状況により防犯部長が警察へ報告を行っている。

昨年夏は下町地区を中心



倉掛自治連合会が月例活動
防犯灯も点検

岡山県コミュニティ協会主催のミニコミ紙コンテストで、本紙「倉掛新聞」が優秀賞・岡山県明るい県民運動推進協議会長賞を受賞した。

倉掛新聞が優秀賞

明るい県民運動推進協議会長賞

このコンテストは、地域活動に役立つ情報紙づくりの資質向上と普及を図るために行われているもので、昨年一年間に発行した県内のミニコミ紙が対象。本紙

県コミュニティ紙コンテスト

の安全につながる活動は自分たちの手で」と提案、役員会と総会を経て実施に踏み切った。地道な活動が評価され、平成元年には岡山県警より優良防犯団体表彰



倉橋則雄さん（写真左三組）が「犯罪や事故は未然に防ぐことが大切。地区民

誰が負担？

60の地区防犯灯
1灯全額拠出の世帯も

愛の灯

倉掛に点在している防犯灯の数は約六十。その年間電気料の総額は、推定で十九万円に上るとみられる。現在これらは個人や近隣地

を受けた。自治連合会の長尾謙治防犯部長は「地元住民が行うからこそ意義がある。連合会役員が心を一つにして継続したい」と今後の防犯活動に意欲を示している。



さて、火災をはじめとする災害も年々複雑多様化し、昨年は倉掛地区においても、予期せぬ水害が発生したことは記憶に新しいことと思えます。各部署がまとまり、本部共々丸となって地域の皆様が安心して暮ら

倉掛自治連合会、婦人会、少年団育成会の関係各位、並びに地区民の皆様には、平素から消防団活動に多大なるご理解・ご協力をいただき衷心より厚くお礼を申し上げます。

消防団活動にご理解を

井原分団 分団長 山岡弘幸（倉掛7組）

していただけるように、予防活動に徹していかなければと決意を新たにしているところです。

本年度は、「火の用心、まずはあなたの気持ちから」を井原分団のスローガンに掲げました。地区民一人一人が火災への関心をもち、消防団と一致団結して生命と財産を守り、安心して暮らせる町にしたいものです。

しかしながら、地域を守る大切な活動をしているといえながらも、現在は、消防団員の確保が困難な状況にあります。地域ぐるみ、家族ぐるみで消防の必要性を再認識していただきたいものです。

今後とも絶大なるご理解・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

市への請願実る..... 昨年秋の水害処理

水路へ流入の土砂除去近し

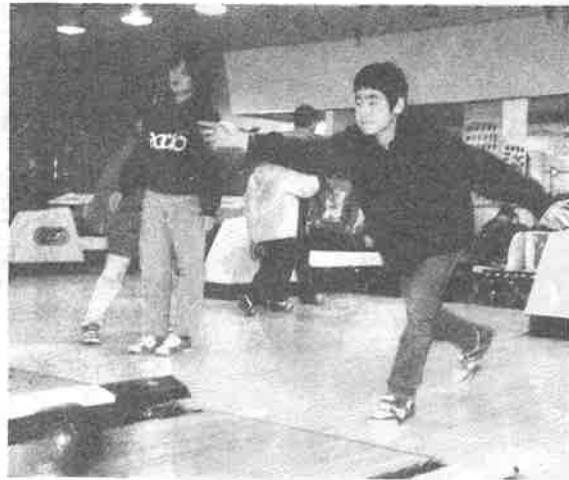
昨年十月、県下を襲った台風十号の影響による豪雨で、増水した小田川の水門から泥水が倉掛地内へ逆流した浸水被害は、人々の記憶に新しい。その際、大西歯科医院付近より南東へ延びる排水路へ土砂が入り込んだ。倉掛自治連合会はそれらの除去を市へ請願していたが、近々着手される運びとなった。

問題の排水路は幅一五〇cm・深さ七〇cmと大きく、堆積した泥と草で一面覆われている。



笑顔一杯のボウリング大会特集

倉掛少年団行事も終盤



渡辺孝道君（五年・十三・二組）

倉掛少年団（谷口大輔団長）と同育成会（的場優会長）は2月7日、レクリエーション行事として福山市伊勢ヶ丘でボウリング大会を開き、43名が熱戦を繰り広げた。

親子でわいわいがやがや楽しんだボウリング大会の思い出を、三組の親子に綴ってもらった。

「ストライクを取ろうとして投げたけど、うまく投げられませんでした。でもボウリングはとても楽しかったです」 倉橋香（六年）

素直な人間は球も真っ直ぐ

「ボウリング大会の数日前にテレビで「ボウリングは球が曲がった方がストライクが出やすい」という内容の放送をしていました。これこれ!!...と思いき早速試してみました。根が素ぱりダメでした。



直な人間は真っ直ぐな球しか投げられないのだ」とあらためて思いました。少年団活動もあと少し。的場会長、本当にご苦労さまでした」 倉橋一郎（七組）

「わたしはボウリングへ何回か行ったことがあるけどぜんぜんピンがたおせなかった。でも今まで少年団のみんなでゲームをするのはなかったのですごく楽しかった。ボウリング大会は、倉掛少年団の中で大人も子どもあそべる行事だと思った」 細羽めぐみ（四年）

ボウリングは難しいでー

「ただ球を転がしてピンを

郷社の歴史

という憶説もある。

山野川と嶋川が芳井町川相で合流して吉井川となり南流する。現在は小田川と呼んでいるが、これは明治の廃藩置県で新たに小田川が置かれた際、名称を統一して小田川となった。それまでは吉井川、江原川、矢掛川とそれぞれの地名を冠して呼んでいた。井原川というのがないのはどうしたことだろうか。一口に言えば、井原という地名が比較的新しいことによるもので他意はない。後月郡史の中に、井原川は雄神川と呼んでいたのではなからうか

井原市野上町から雄神川が流れ出ている。今市にも一つの足次山神社が存在しているとの報告をうけ、探索に出掛けた。

雄神川の河口から東方を眺めると、今市をはさんでるか向こうに小田川にしかかるような小高い丘陵が見える。その向かい側は青木である。山裾の石の鳥居をくぐり、石段を上りつめると一つの社がある。まさしく足次山神社に間違い

ない。しかもかなり古い神社であることは、参道の樹齢数百年を思わせる杉の木が古株が点在していることからますますわかる。

その3 説の夫国原篠原

元芳井教育長

社であることは、参道の樹齢数百年を思わせる杉の木が古株が点在していることからますますわかる。

近くの古老の話では、昔小田川（吉井川）が氾濫した時、倉垣（倉掛）の足次山神社の御神体が流れされ、この丘に漂着した。

間もなく御神体は元の倉垣へ返したが、里人はその縁を尊んだ。この丘の上に足次大明神を祀った。この丘は足次山とは言わず特別の名前はないとの事である。古い寄進板には足次山神社と書いてあるのに新しい賽銭箱には足次神社と書き、山の字を書いているの

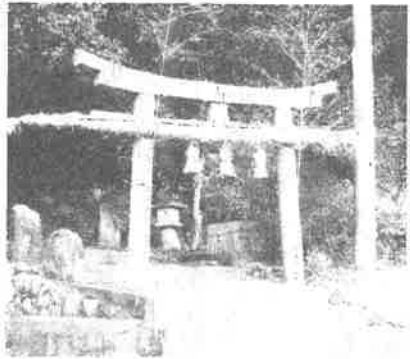


写真 足次さんの鳥居

ストライク...かな?



西山加菜さん（4年・13-1組）

昨年四月の郷社清掃作業以降、多彩な活動を展開した本年度の倉掛少年団。入退団式を前にしての思い出に残る行事だった。

ので、優勝を目指して一球一球に力を込めて投げました。その結果、男子の部優勝、団体賞二位という好成績をおさめる事ができました。これも運とチームの皆と力を合わせて頑張ったおかげです。残り少ない少年団活動を楽しく過ごせた事がとてもうれしいです」 竹田康宏（六年）

賞に子供ら満面の笑み

「各チームに分かれ、いよいよゲーム開始。いきなりストライクを出し歓声を上げる子、ガーターでしょんぼりする子と様々でしたが和気あいあいとした雰囲気のもとで徐々に心地よい汗をかき、親子共々楽しい一時を過ごしました。また表彰式では子供達全員がそれぞれの賞を頂き、満面に笑みを浮かべ帰路に着きました。育成会の皆様、大変お世話になりました」 竹田京子（十二・二組）

倉掛ほっと情報

J A 井原市生活センター A コープが二月末で閉店した。昭和四十二年倉掛へ出店して以来、三十一一年間にわたり親しまれてきたが、四月一日からは岡山県西部農協の本店として生まれ変わる。

新規に購入する消火栓器具箱の設置場所を検討していた倉掛自治連合会と消防団五部は、井原大橋南の十二・一組（井上重光自治会長）の藤原達一さん宅前へ置くことを決めた。

行事予定

- 3/7 消防団第5部試運転日
- 3/7 倉掛少年団入退団式
- 3/13~14 鉄道井原線開通記念イベント「おいでー井原へ'99」
- 3/13 古紙回収（倉掛は市役所へ）
- 3/14 経ヶ丸ファミリーマラソン
- 3/14 井原市消防操法訓練大会
- 3/17 井原中学校卒業式
- 3/19 井原小学校卒業式
- 3/20 自治連合会防犯パトロール
- 4/2 郷社清掃 午前8時~
- 4/4 郷社まつり
- 4/4 倉掛少年団郷社清掃
- 4/10 倉掛自治会総会（午後6時30分~5部機庫）
- 5/9 第12回井原町民体育祭